

「オスプレイ事故多い」

千歳 日米共同訓練抗議集会

「専守防衛など日本の防衛の基本政策がぐらつき始めた」と語る半田滋氏



【千歳】陸上自衛隊と在沖縄米海兵隊が22日から道内で行う日米共同訓練に反対する「日米共同訓練の中止を求める全国基地問題ネットワーク抗議集会 in HOKKAIDO」が13日、千歳市内で開かれた。道内外の労働組合関係者など約500人が参加し、名古屋学院大の飯島滋明教授（憲法学）らが講演した。

飯島教授は、米海兵隊の輸送機オスプレイが航空自衛隊千歳基地を拠点に訓練に参加することについて「オスプレイは事故が多く、沖縄県では騒音のため眠れないという声もある。憲法で定める平和的生存権を侵す」と述べた。

防衛問題に詳しい東京新聞の半田滋・論説委員兼編集委員も講演で、安倍晋三政権は安全保障関連法制定などで「専守防衛の範囲を超え、軍事への傾斜を強めた」と強調。護衛艦「いずも」の空母化計画や自衛隊の日報隠蔽問題などを通じて専守防衛、文民統制といった防衛政策の基本が「ぐらつき始めた」と指摘した。

集会は北海道平和運動フォーラムなどでつくる「全国基地問題ネットワーク」が主催。14日午前10時半から千歳基地正門前で抗議行動を行う。

（山口美智瑠）